

祇園小学校 校長だより（第73号） 令和2年度第14号 令和2年10月15日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

## 校訓制定後 1 年

昨年（令和2年）の10月15日に、校訓「高い理想、清い心、熱い想い」を制定いたしました。校訓制定委員長である中部地区自治協議会の河野会長による校訓発表が、ちょうど1年前でした。来年度開催予定の創立20周年記念式典において、校訓碑除幕式を行う予定です。校歌の歌詞の一部でもある校訓が、皆様に愛され続けることを願っています。1年前の校訓制定式における児童代表のことは以下で紹介いたします。

この校訓のように、友達、保護者、地域の皆様、先生方とともに 心を一つに  
「高い理想」をもって とともに学び合います。  
「清い心」をもって とともに協力し合います。  
「熱い想い」をもって とともに優しくたくましく成長します。

校訓とは、常に心の中にあるものだと思います。小学校生活だけでなく、今回決まった校訓は、人生の中でも大切なものだと思います。いつまでも忘れないように心に刻んで、明るい未来と伝統を守ることを決意します。

## 自律と自立

大人が子どもに求めることや頑張ってもらいたいと思うことは様々ありますが、「自律と自立」も大きなウエイトを占めているのではないかと思います。自由と自分勝手の違いや自由に伴う自己責任を理解し、自分の意志で考え判断して、自律的に行動してほしいと大人は願うものです。そして自主的に判断し行動できるようになって、大人から巣立ち自立していくのではないかと思います。

一方、大人が子どもにかまいすぎて、子どもの「自律と自立」を妨げているのではないかと思います。直接体験することや苦労したことは、子どもの頭や心に残り、その後の学びや生活に役立つものと信じています。大人として見守りつつ、子ども自身が自ら考え判断し行動できるよう、大人の我慢や頑張りが必要なのかもしれません……。

## 祇園歴史の旅（その73）「13周年の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革史によると、平成26年9月7日第1校舎天井板張替工事、10月16日～長崎国体観戦、平成27年1月15日県学校保健会よい歯の学校優秀校受賞とあります。2巡目長崎国体で盛り上がった年でした。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は次のとおりです。平成26年4月1日消費税が5%から8%に、4月15日総人口の4人に1人が65歳以上にと総務省発表、10月7日赤崎勇氏・天野浩氏・中村修二氏がノーベル物理学賞受賞、12月3日「はやぶさ2」打ち上げ成功。

今回は、「14周年の祇園小とその時代」と題して、14周年年度の祇園小学校の出来事や平成27年4月～28年3月までの日本内外の主な出来事をご紹介します……。